

金沢市夕日寺地域における地域ブランド・ふるさと教育推進活動

団体名●池田ゼミナール・野外スポーツ部／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科教授)

はじめに

金沢市伝燈寺町は、市内北東部の夕日寺地域に位置し、自然に囲まれ、歴史的にも幕藩時代に天領地区として多くの遺跡等が残っている。夕日寺地域では、2019年度に1300年という節目の年に当たり、2017年6月に「夕日寺1300年協議会」が設立され、地域の歴史文化を後世に引継ぐ体制づくりが行われ、また、豊かな自然環境を活かし、地域の子どもたちへのふるさと教育を推進するとともに、地域の伝統野菜の「金澤伝燈寺里芋」活動を通じて地域への愛着と誇り、絆の醸成を図ってきている。

これまで2014年度より金沢市「地域農産物づくり協働活動支援事業」、2017年度より「協働のまちづくりチャレンジ事業」等としても夕日寺1300年協議会及び本学人間科学部スポーツ学科池田ゼミナール(「アウトドア・スポーツ・ラボ」)が協働採択され、本年度においてもその活動が継続されている。

活動内容

毎年継続的に地域連携活動を推進しているが、本年度は、新型コロナウイルス感染(COVID-19)により、大学感染防止指針もあり、当該活動での活動が規制される中で石川県「農林漁業まつり2020」への参画及び「金澤伝燈寺里芋収穫体験会」が実施された。本稿では、この2つの事例を報告する。

●石川県「農林漁業まつり2020」における金澤伝燈寺里芋パネル展示(2020年10/17(土)・18(日)、石川県産業展示館4号館)

毎年開催され、多くの県民が来場する石川県「農林漁業まつり2020」において、生産者、金沢市農林水産局農業センター、そして池田ゼミナールが連携し、未だ周知されていない金澤伝燈寺里芋の魅力についてのパネル展示による情報配信を行った。なお、パネルは池田ゼミナールが作成した。

●「金澤伝燈寺里芋収穫体験会」における子どもたちへのふるさと教育推進(2020年11/7(土)、金沢市伝燈寺町圃場)

毎年、秋の金澤伝燈寺里芋収穫の時期に合わせて、

地域の金沢市立夕日寺小学校の児童の体験学習の一環として、「金澤伝燈寺里芋収穫体験会」が行われている。金澤伝燈寺里研究会、小学校PTA、地域の各団体、本学池田ゼミナール、野外スポーツ部、そして今回スポーツ学科フィールド基礎演習野外教育推進プロジェクト学生も参画した。金澤伝燈寺里研究会及び学生たちが事前準備を行い、その後、合計約80名の参加者が里芋収穫体験を行った。



「農林漁業まつり」でのパネルブースの様子



金澤伝燈寺里芋収穫体験会での参加者の様子

成果、結果の考察

金澤伝燈寺里芋は、最近では地域や農業関係者には周知されているが、市民、県民への一層の周知が望まれる。本活動は、参画した学生たちにとってもフィールドでの大きな学びにつながっており、地域の子どもたち、生産者、行政担当者等の様々な方々との協働を通して地域の魅力配信に寄与できたものと考えられる。

今後の課題、展望

地域ブランド強化、地域活性化、そしてSDGsの視点からも、金澤伝燈寺里芋を含め、地域主体の更なる継続発展活動が期待される。